

2020 年度「人材発掘」入試・
学部 3 年次生特別入試枠
法学既修者認定試験

刑 法

(問 題)

注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は 2～3 頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名、問題番号を記入してください。受験番号は正確に間違いに記入してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題 1 (60 点)

以下の〔事例〕を読んで、〔設問〕に答えなさい。

〔事例〕

1. 甲 (34 歳・女) は、前夫との間にもうけた子 A (6 歳・男) を連れて、3 カ月前から、交際相手である乙 (39 歳・男) と同棲関係に入っていた。乙は、日頃から「しつけ」と称して A に暴行を加えることがしばしばあった。
2. ある日、乙は、A がゲームばかりしていることを注意したところ、A が反抗的な態度を示したことから、これに立腹し、A の顔面を殴るなどの暴行を加え始めた。隣室の台所で夕食の支度をしていた甲は、乙が A に暴行を加え始めたことに気づいたが、乙の機嫌を損ねるのをおそれ、気づかないふりをしていた。乙がさらに A の肩を突いたところ、A は、畳の上にしりもちをつくように転倒した。A は、生まれつき心臓疾患を患っていたため、転倒のショックで心停止に至り、死亡した。甲は A の心臓疾患の事実を知っていたが、乙はその事実を知らなかった。

〔設問〕

「1」の事実を前提として、「2」の事実について甲および乙の罪責を論じなさい(特別法違反の点を除く)。

問題 2 の解答は『解答用紙 (D)』を使用してください

問題 2 (30 点)

名義人の承諾を得て、同人名義で文書を作成した場合における私文書偽造罪の成否について、具体的事例を挙げつつ、論じなさい。

〔以下余白〕

